

【転職希望者のホンネ調査】

あなたの会社はブラック企業？ 不満感じているのは26%。

うち、9割を20代・30代が占める結果に。

総合転職エージェント株式会社ワークポート(東京都品川区、代表取締役社長 CEO：田村高広)は、ワークポート利用者に向けて実施した『転職希望者のホンネ調査』の結果をお知らせします。

【内容】

Q. あなたの会社は「ブラック企業」だと思いますか？

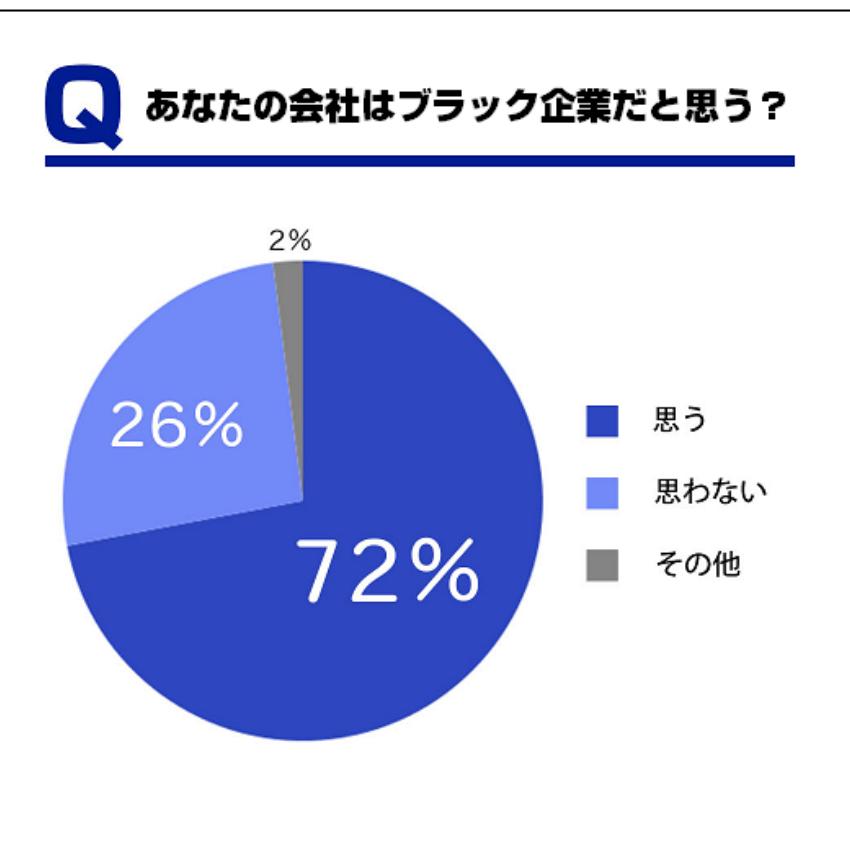
最近よく聞く「ブラック企業」という言葉。正確な定義はなく、人によってとらえ方が違う曖昧な単語ですが、大多数が「法律に違反している企業、労働に対する正当な対価が払われていない企業」だと理解しているようです。あちこちで「うちはブラックだからさ～」「ブラック企業の見分け方って？」などという会話が飛び交っておりますが、実際に働く人は自分自身の会社をどう思っているのでしょうか。今回はワークポートを訪れた転職希望者に「現職（離職中の場合は前職）の会社をブラック企業だと感じているのか」聞いてみました。

調査の結果、72%の人が「いいえ」と回答し、26%の人は「はい」と回答しました。「はい」と回答した人の中で「接客・サービス系職種」、「エンジニア系職種」のような、顧客によって自分の業務が大きく左右されやすい職種が多い傾向がありました。また、「はい」と回答した人の約9割を20代・30代が占めていました。さらに、「場合によって」「グレー」と回答した方が2%でした。

数字だけを見てしまえば「全体の約4分の1がブラック企業」、ということになってしまいますが、先にも述べた通り「ブラック企業」の概念は人それぞれです。企業が悪い、働いている人間が悪い、というわけではなく、ただ単純に「自分の求めていることと仕事で得られるものがマッチしていない」ということもあります。「もっと給料が高くなてもいいのに」「もっと早く帰りたいのに」と、自分の理想と現実にギャップが存在すると不満がたまり、自分が勤めている会社を「ブラック企業」と感じてしまうこともあります。

もし、自分が勤めている会社を「ブラック企業」と感じるなら、改めて自分が何を不満に感じているか整理してみましょう。小さなことが積みかさなっているだけで、整理してみたら簡単に解決できることだった、ということもあるかもしれません。それでももし「どうして耐えられない」という場合には、整理して出てきた「自分が本当に求めていること」を踏まえたうえでほかの企業を探してみるという手段もあります。それが転職活動において入社後のミスマッチを防ぐためにとても重要なポイントになってきます。

現在職についていない方も、自分がどんな理由で前職を辞めたのか、本当はなにがしたいのか、という軸をしっかりと持ったうえで転職活動を進めていきましょう。それが、あなたの人生の転機とも言える「転職」を限りなく成功に近づけるための第一歩となるはずです。



【調査概要】

調査内容：転職希望者の意識調査

調査対象：ワークポートにご来社いただいた 20～40 代の男女（341 名）

調査期間：2017 年 1 月 30 日（月）～2017 年 2 月 12 日（日）

▼アンケート掲載ページ

http://www.workport.co.jp/applicant_data/detail123.html

■本リリースに関するお問い合わせ

株式会社ワークポート 担当：清水

URL : <http://www.workport.co.jp/corporate/>

フリーダイヤル : 0120-77-1049（代表）

E-mail : otoiawase@workport.jp

所在地 : 〒141-0032 東京都品川区大崎 1-2-2 アートヴィレッジ大崎セントラルタワー6F/9F

facebook : <https://www.facebook.com/workport>